

第3回「未来の暮らし方を育む泉の創造シンポジウム」in 豊岡

落語で学ぶ未来の暮らし方

「未来の暮らし方を育む泉の創造」プロジェクト(代表研究者「古川柳蔵東北大学大学院准教授」と兵庫豊岡市は10月20日、豊岡市出石地区にある出石水楽館で「第3回「未来の暮らし方を育む泉の創造シンポジウム」in 豊岡」落語で学ぶ未来の暮らし方」を開催した。将来、厳しい環境制約下でも心豊かに暮らすため、どのようにライフスタイルを変えていけばよいか、親しみやすい「落語」からのアプローチも取り入れ、大人から子供まで、地域全体で考える大きなきっかけとなった。

心豊かなライフスタイル描く

「未来の暮らし方を育む泉の創造」プロジェクトは、科学技術振興機構社会技術研究開発センター(JST-TRISTE X)の研究開発領域「持続可能な多世代共創社会のデザイン」に採択された研究開発課題。ライフスタイルを育むことで、環境負荷低減かつ心豊かな暮らしの実現を目指す。モノづくり日本会議、ネイチャー・テクノロジー研究も産業界の立場から参加し、手法研究や社会実装をサポートしている。



豊岡市長 中貝宗治氏



東北大学大学院准教授 古川柳蔵氏

具体的には、現在90歳前後の高齢者へのヒアリングを行い、戦前の厳しい制約の中で心の豊かさを生み出す価値や地域らしさを抽出。それらに基づき、新しいライフスタイルをバックキャスト思考によりデザインする。描いた新しいライフスタイルを多世代共創により具現化し、浸透させるための方法論の構築を目指す。



中筋小学校の児童による発表



モノづくり日本会議

モノづくりへの挑戦

古典落語や地方都市にヒント



来場した女の子に扇子を著に見立てた演技を指導する林家染左さん

必要だ」とアドバイスを受けた。午後には豊岡市中部部の菅田商店街(カバンストリート)を探索。豊岡は国産靴の7割を製造する靴の町だ。カバンストリートは地場産業の靴をテーマに人やモノ、情報が行き交う「カバンストリート」を開催することを目指している。



合同WG会議

市民への効果的な働きかけ課題

30日は豊岡市出石地区にある如來寺で「未来の暮らし方を育む泉の創造」プロジェクトのモニター会議が開かれた。ネイチャー・テクノロジー研究会からは日本ロイヤル・池田正樹氏が参加した。治体・地域と秋田市の関係者らによる合同ワーキンググループ(WG)会議が開かれた。ネイチャー・テクノロジー研究会からは日本ロイヤル・池田正樹氏が参加した。治体・地域と秋田市の関係者らによる合同ワーキンググループ(WG)会議が開かれた。

合同ワーキンググループ会議

「未来の暮らし方を育む泉の創造」プロジェクトのモニター会議が開かれた。ネイチャー・テクノロジー研究会からは日本ロイヤル・池田正樹氏が参加した。治体・地域と秋田市の関係者らによる合同ワーキンググループ(WG)会議が開かれた。

「未来の暮らし方を育む泉の創造」プロジェクトのモニター会議が開かれた。ネイチャー・テクノロジー研究会からは日本ロイヤル・池田正樹氏が参加した。治体・地域と秋田市の関係者らによる合同ワーキンググループ(WG)会議が開かれた。

■主催■ 豊岡市 科学技術振興機構社会技術研究開発センター「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域2015年度採択プロジェクト「未来の暮らし方を育む泉の創造」

取り組みを解説する豊岡市松野祥太氏

シンポではまだ描いた創作落語「コウノトリの日記」を披露。また、林家染左さんは「古典落語から学ぶ豊かな暮らし」と題した講演で「遊ぼう」と題した講演で古典落語「遊山船」を演じた。



エントリ靴職人山本大一郎氏

必要だ」とアドバイスを受けた。午後には豊岡市中部部の菅田商店街(カバンストリート)を探索。豊岡は国産靴の7割を製造する靴の町だ。カバンストリートは地場産業の靴をテーマに人やモノ、情報が行き交う「カバンストリート」を開催することを目指している。

必要だ」とアドバイスを受けた。午後には豊岡市中部部の菅田商店街(カバンストリート)を探索。豊岡は国産靴の7割を製造する靴の町だ。カバンストリートは地場産業の靴をテーマに人やモノ、情報が行き交う「カバンストリート」を開催することを目指している。

モノづくり日本会議

モノづくりへの挑戦

「モノづくり日本会議」は、2007年9月に設立した「モノづくり推進会議」での活動を土台に、広域企業ネットワークや他機関との連携を活用し、日本のモノづくり産業の強化に役立つ実践的な勉強会・シンポジウムなどのイベントや交流会などの活動を展開しており、日刊工業新聞社が事務局を務めさせていただいている団体です。

少子高齢化、環境対応、資源・エネルギー問題など様々な課題を乗り越え、「超」モノづくりの推進をテーマに、事業を進めております。これまでの取り組みを発展・拡充させるとともに、IoTやAIを含めたロボット産業や「防災イノベーション」など、横断的テーマについては、より実践的な成果を目指します。

先進的な技術やノウハウを有する会員企業をはじめ、多彩な連携機関のご協力をいただき、モノづくり産業のさらなる発展を目指して事業を展開し、モノづくり産業の競争力強化につながるよう、地域間、企業間連携をおこない、ビジネスマッチングなども図っていきます。

モノづくり日本会議の事業

- 「グローバル競争力強化関連事業」
 - モノづくり力徹底強化検討会
 - 人材育成関連事業
 - 長寿企業イノベーション勉強会
 - 価値創造型サプライチェーン検討会
- 「新産業・ビジネス創出/ビジネスモデル構想力向上検討事業」
 - ネイチャー・テクノロジー研究会
 - 新産業創出検討会
 - 新産業技術促進検討会
 - 農工商連携勉強会
 - ロボット研究会
 - ロボットビジネス 2020
- その他の事業コンテンツ
 - 交流・マッチング事業
 - 顕彰事業 モノづくり部品大賞
 - モノづくり推進シンポジウム
 - 特別講演会
 - 防災イノベーション
 - 地区別研究会
 - 中部地区研究会

各事業の詳細は、モノづくり日本会議ホームページ (www.cho-monodzukuri.jp) をご覧ください。

お問い合わせ先 ● モノづくり日本会議事務局 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1(日刊工業新聞社内) Tel: 03-5644-7608 Fax: 03-5644-7209